

2014年10月1日

Spirit社とBoeing787向け主翼前縁部の炭素繊維強化複合材部品の供給契約を締結

日機装株式会社は、航空宇宙事業において、主要顧客である米国 Spirit AeroSystems Inc. (以下、Spirit社)との間で、Boeing787の主翼前縁部の炭素繊維強化複合材(CFRP)部品の長期供給契約を締結しました。

今回契約した部品は、主翼の前縁部の部品で、その断面形状から「J-Panel」とも呼ばれる部品です。従来は、Spirit社の米国工場で生産していましたが、今後は、当社のベトナム・ハノイ工場(以下、NVI)での生産に切り替わることとなります。生産移管スケジュールは、2014年末に初回品の出荷が始まり、2015年央には生産移管が完了してフル生産となる計画です。



NVIでは、既存のブロックドア、トルクボックス、ブルノーズフェアリングなどのエンジンナセル部品に加えて、Boeing向けの本契約やエアバスA320向け主翼先端部品(シャークレット)といった2大航空機メーカーの主翼一部部品も生産することになります。

当社にとっては、従来はエンジンナセル部品の契約が中心でしたが、今回の主翼大型部品の長期契約により、航空機の製造対象部品の拡大、多様化が期待できます。また、航空機にとって最重要部品である主翼の部品を契約できたことは、当社の品質管理体制やベトナムにおいても日機装品質で生産できることが、Spirit社のみならずBoeingからも評価されたことになり、今後、更なる契約の獲得や事業規模の拡大に向けた重要な一歩となりました。品質マネジメント、生産マネジメントに長けた日機装によるLCC(Low Cost Country)での生産という新しい価値を航空機産業に提供しながら、NVIでは今後もこのような大型部品の製造を行うべく生産設備の拡充を行っていきます。

【Spirit社概要】

- ・航空機部品開発製造大手でBoeing社、Airbus社のTier-1サプライヤー
- ・本社は米国カンザス州Wichitaで、他にノースカロライナ州、英国スコットランド、マレーシアなどに製造拠点を有する
- ・2013年売上高5,961百万米ドル(約6,400億円)
- ・ニューヨーク証券取引所上場

以上